

統合的地域イベント情報掲示板データベースの開発

本開発事業は、平成22年度自転車等機械工業補振興助事業により実施した事業です。

1. 事業概要及び目的

各地域で開催される各種イベントは、小規模であるが人々の暮らしに密着し、絆を育み、世代をこえた話題となる。また、ディスプレイから各種飲食、土産・花の贈呈品、お出かけのファッションに交通と、様々な関連消費が発生し、地域の新たな静脈として地域活性化の要諦となる。本事業は、地域で開催されるイベント情報を集約・発信する Web 掲示板システム（PC・携帯・スマートフォン）の構築・運用を行い、事業として稼働させる実証実験を行う。

2. 事業の実施内容

イベント主催者が、投稿画面を通して自らのイベントを無料で投稿、PR できるイベントポータルサイト（PC 及び携帯サイト）である『イベントナビ』（平成20年4月開設）の実績を基盤に、地域でのイベント情報提供をより強化したモデルの実証実験を行った。

実験実施地域については、大井町を中心とする品川地区とした。品川地区は住宅地でありながら、各種商業施設の集積もあり、実験モデルとしては相応しいものとする。

- ① イベントナビ上にASPシステムにより『イベントナビ品川』を開設し、運営事務局を設置して、集中的に品川地区のイベントの集約と掲載を行った。
- ② これまではPCサイトが中心であったが、携帯電話、スマートフォンへの対応を図るべく、携帯用、スマートフォン用のブラウザを開発した。さらにIT世界のめまぐるしい進展にあわせ、掲載されたイベント情報に対するTwitterでのフォロー機能を加えた。
- ③ 主婦を中心とした地域NPO（品川区）「一般NPO法人チルドリン」との協力により、地域の人々が求めるイベント情報を効率的に集めるネットワークを構築した。
- ④ 地域における様々なイベント情報を選択、集約し、地域にカスタマイズされたイベント情報を提供する検索エンジン（アプライアンスサーバー）を株式会社イー・マーケティングの協力のもとに開発、導入した。

- ⑤ イベント検索と地域広告との連動を図ることを意図し、イベントナビが運用管理する地域マネーとして「イベントナビクーポン」を企画。Web上でクーポン発行システムを構築するとともに、イベント主催者、地域店舗の協力のもとに、「イベントナビクーポン」の発行及び試験的な運用を行った。

3. 本事業実施による成果

本実証実験事業で開発されるシステムの実現により、地域活性化で以下3つの側面からの成果が想定された。

- ① 地域活性化：数多くの人々が地域イベントに参加・交流を深め、地域の一員としての自覚を促す
- ② 雇用促進：直接雇用＝コミュニティ Web サイトの運用組織の雇用／間接雇用＝イベント並びに関連事業者による雇用効果
- ③ 事業支援：小規模事業者（イベント主催者やイベント関連事業者）へ地域マネーを通じた事業支援効果

4. 本事業の成果の活用状況等

本事業は「地域活性化」「地域での新規事業の創出＝雇用支援」「地域の店舗利用促進＝事業支援」という活用効果が期待できる。

一定規模の人口と産業をもった地域（例えば人口30万人程度の中規模都市）であれば、こうしたシステムのニーズは高く、事業として運用する可能性も高いと思われる。

今後のシステム面での課題としては、ナビゲーションデザイン、携帯電話とスマートフォンとの機能分担と連携、FACEBOOKなどのSNSとの連携などを意図したデザインの一層のリニューアルが求められる。

事業面では、今回の運営にあたったようなNPO組織との連携が有効であると考えられる。

地域でクーポン雑誌を発行している出版社などとの連携も視野に含むことが考えられる。